

梵珠ガイド会通信

2023年10月21日

自然ふれあい
ボランティアガイド会

■ 横内川多目的遊水地周辺の自然観察会



◆案内板を前にして現地の概要説明



◆卵を抱くザリガニ



◆ヘビの抜け殻

秋晴れの10月14日、青森市の横内川多目的遊水地周辺の自然観察会を当会の自主研修として開催しました。当日は参加者7名で、遊水地近くに住んでいます葛西氏が講師となり、埋没林広場やスポーツ広場周辺を2時間にわたり歩き自然観察しました。天気が良く、スポーツ広場では野球、サッカー、ラグビーの試合が行われ、声援が聞こえる中での観察会でありました。

講師役の葛西氏からは、冒頭、袋から卵をお腹に抱いているアメリカザリガニを取り出してみせてもらいました。遊歩道を歩いているところを捕まえたとのことでした。

遊歩道沿いには、オオブタクサやブタクサ、セイタカアワダチソウにオオアワダチソウ、オオハンゴンソウなどの帰化植物が生い茂り、まるで帰化植物の見本園みたいでありました。各地から搬入してきた土砂などに混ざり運ばれて広がったものと思われます。

スポーツ広場周辺には、植栽された柑橘系の匂いがするニオイヒバや、珍しいシダレカツラも確認できました。

横内川多目的遊水地は、洪水調節を目的として平成15年に完成し、面積は62.5ha、貯水容量は220万立方メートル。普段は緑のオープンスペースとしてスポーツ・レクリエーションの場として市民に利用されています。横内川と合子沢が合流する場所に遊水地が設置されており、当日、その現場を確認できました。近くの遊歩道脇には、ヘビの抜け殻がありました。

■ ガイド会活動日誌

月日	活 動 内 容
9月24日	秋の梵珠トレッキング 梵珠少年自然の家から梵珠山
10月6日	藤崎幼稚園梵珠登山ガイド 荒天で中止し室内研修
10月7・8日	「梵珠の森・秋のふれあいデー」 梵珠山登山ガイド
10月14日	ガイド会自主研修 秋季現地研修

担当ガイド
講師：米谷
鈴木・工藤・渋谷
工藤・葛西・平川
7人参加

■「梵珠の森・秋のふれあいデー」 梵珠山登山



◆ブナの素晴らしさを説明

10月7・8日の土日の2日間に、梵珠の森・秋のふれあいデー 梵珠山登山があり、当会のガイドが登山案内しました。1日目は10人、2日目は7人の参加者がありました。

2日目の登山は、ミズバショウの道から進み、トクサ・オオアキノキリンソウの花など見る。ブナの特殊な葉っぱ、水を貯める仕組み、樹幹道・樹幹流の話をしました。そしてかつて日本一のブナがあった場所を確認しながら進む。

ツルシキミ・ヒメアオキ・ヒメモチの低木の常緑樹を見ながらハイイヌガヤの実の味を確認し、岩木山展望所で休憩。

太宰治が嬋娟たる美女と言った岩木山を後に寺屋敷へ行き、言い伝えを話しながら頂上へ向かう。頂上のアキグミが熟していたのでみんなで味見し、元気が出たところで下山。途中ありがたいお釈迦さんの墓を見て、マンガンの道を下りました。下山する最後に美しいピンク色したマスタケを見つけセンターへ無事12時に帰りました。

この時期、花はあまり咲いていなかったものの、参加者は山頂往復でき楽しめたと思います。お疲れ様でした。



◆山頂のアキグミ



◆ピンク色のマスタケ

■ 幼稚園児 荒天で梵珠登山中止し室内研修

10月6日、藤崎町幼稚園児20名ほどが梵珠登山を予定していましたが暴風と雨となり、登山を中止し展示ロビーや梵珠作品展を見学しました。

園児の皆さんがセンターに来る前に、急遽、いろいろな落ち葉やドングリを集め、時間を頂き、拾ってきた落ち葉をテーブルに広げ、触ったり落ち葉でジャンケンして遊んだり、ドングリでコマを作り、コマ回しをしてひとときを楽しみました。

以前に比べ小学校登山はめっきり減り、その中で園児達が梵珠山登山する様子を時々見るとなんとも頼もしく感じます。葉っぱを触るとザラザラ、ツルツルするなどいろいろ。さわる、かく、とる、食べる・・・自然と肌でふれあい、自然を体で感じる遊びは、子どもの感性と知性を育てる「原体験」。これからも安全を第一に、子どもたちが「原体験」できるよう応援していきたいものです。



◆ドングリのコマ回し